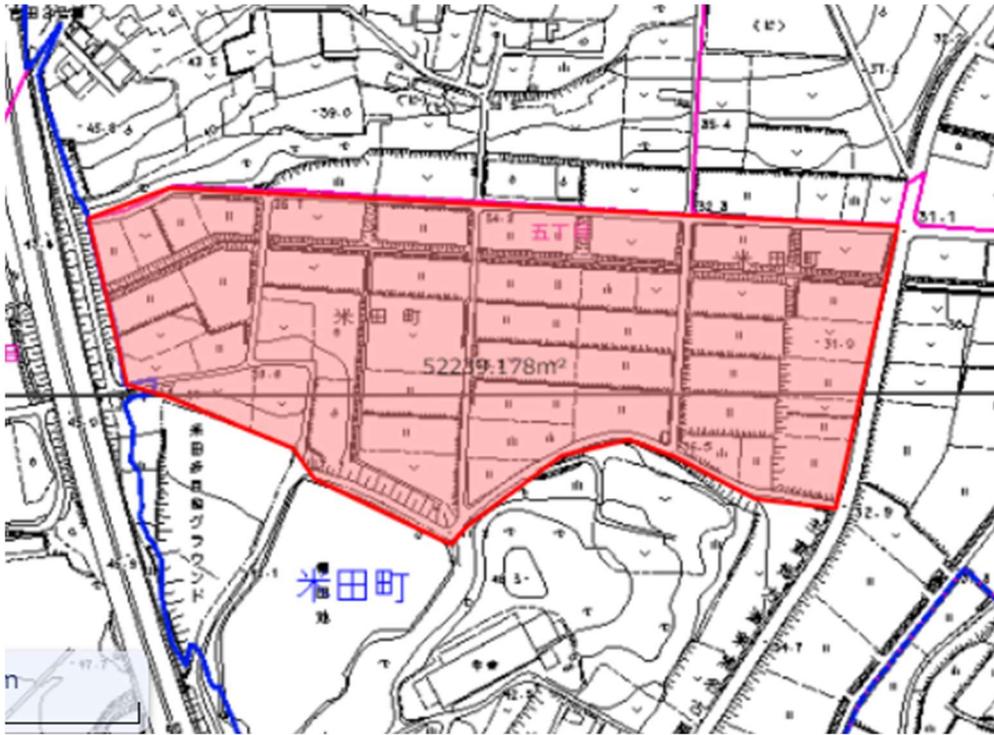


特定区域の区域及び事業活動の内容 (大府市)

1. 特定区域の区域

(1) 区域

大府市米田地域 (米田町五丁目の一部区域)



(2) 当該区域の特性及び区域設定の理由

大府市は知多半島の付け根に位置する名古屋市に隣接する地域で、消費地に近い立地条件を活かし、果樹や露地野菜などの多彩な都市近郊農業が営まれている。

有機農業については、2050年カーボンニュートラルへの対応や、農業者の所得向上など持続可能な都市近郊農業の実現に向けて取組拡大を進めており、有機農業に取り組む担い手の育成・確保による生産拡大と、有機農業で生産された農産物の給食での提供などによる需要拡大に取り組んでいる。

当該区域は、市南西部に位置する農業振興地域で、果樹や野菜などの慣行農業が営まれているが、遊休農地を活用して有機農業に取り組む生産者もいて、有機農業での利用割合が比較的高い地域である。

こうした中、2023年度からは、当該地域において有機農業に取り組む担い手を育成するための「有機農業担い手講座」を開講し、露地野菜の有機

栽培技術を学ぶ研修場所として活用を進めており、大府市有機農業実施計画（2024年11月策定）において、講座の修了生が相互に連携するなどの有機農業の拠点として位置付けている。

このため、当該地域を特定区域として設定し、有機農業の担い手育成拠点としての活用と、修了生等への当該地域の農地の斡旋などにより、有機農業の団地化や遊休農地の活用を図る。

2. 特定環境負荷低減事業活動として求められる事業活動の内容

(1) 活動類型

有機農業の生産活動

(2) 特定環境負荷低減事業活動の内容

当該地域では、持続的に有機農業を行うため、担い手の育成・確保を重点的に行い、修了生を中心に栽培技術の体系化・共通化に取り組むとともに、グループ化による共同出荷を推進することで、新たな有機農業者の増加、産地の維持・活性化を図る。

本地域を含む市内全域で有機農業により生産された農産物を「おおぶニック※農産物」として一体的に消費拡大を図り、給食での提供や市内直売施設等と連携した地域内流通の構築、六次産業化の推進などにより、ブランド化を図る。

※おおぶニック：地名の「大府（おおぶ）」と有機農業を表す「オーガニック」を組み合わせた造語。